

NACCSを巡る動きについて

	(頁)
1. CY搬出入業務	1
2. 医薬品輸出入手続きシステム化の概要	2
3. NACCSの海外展開	4

1. CY搬出入業務

港湾物流をより効率的・正確な業務処理を実現するため、NACCSではCY搬出入関連業務のシステム化を通じて、各利用者間の情報共有が可能となるサービスをご提案し、積極的なプロモーション活動を行っています。

(1) ブッキング情報登録業務

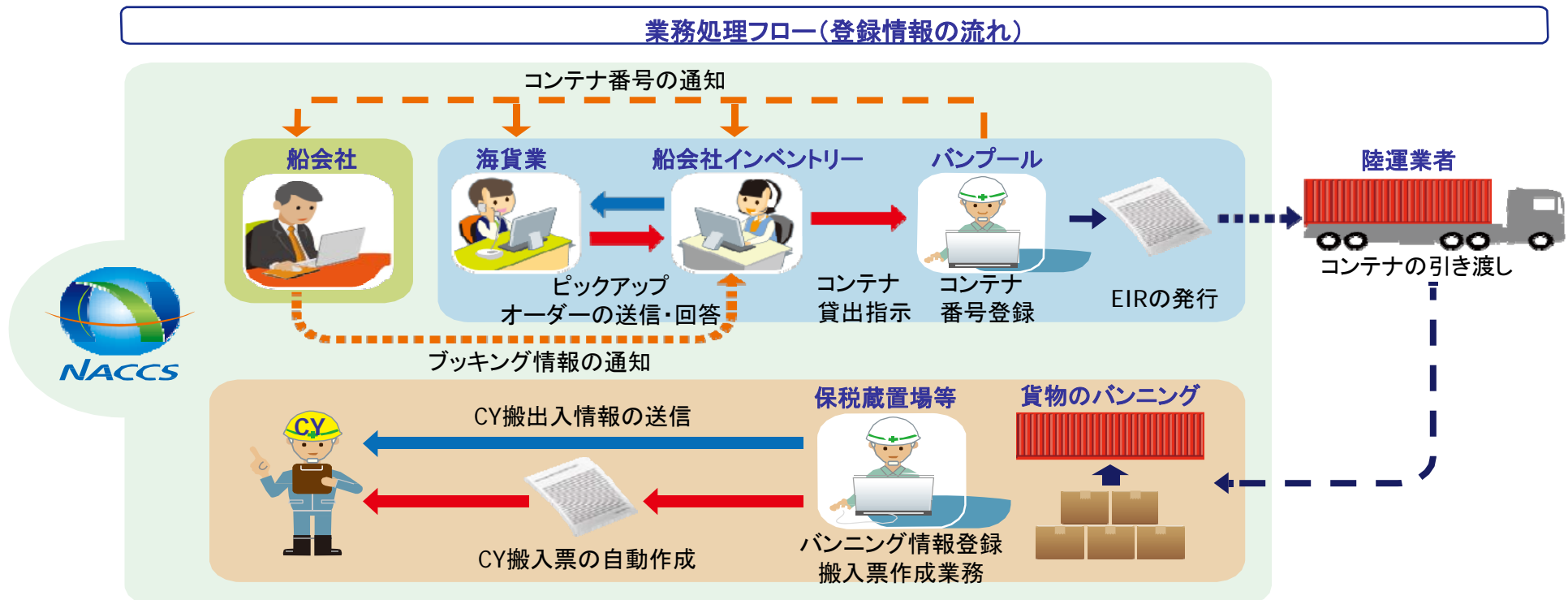
船会社がブッキング情報をNACCSに登録する業務です。登録されたブッキング情報を使って、共通フォーマットによる作業の共通化・効率化が実現します。

(2) 空コンテナピックアップ業務

輸出用の空コンテナピックアップオーダーを、NACCSの共通フォーマットで行うことができる業務です。

(3) 搬入票作成業務

NACCSにコンテナ搬入票の情報を登録する業務で、コンテナ搬入票の作成と併せて搬入先のCYへコンテナ搬入票を送信することができます。



2. 医薬品輸出入手続きシステム化の概要(平成26年11月25日稼働)

(1)対象手続き(各手続きの事項登録・届出・報告確認・照会業務等を含む)

項番	区分	手続きの概要
i	輸入届出	薬事法上の製造販売等の許可を有する業者による輸入手続き(5万件/年)
ii	輸入報告	薬事法許可業者又はその他の業者・医療従事者・個人等による輸入手続き(7万件/年)
iii	輸出用製造輸入届出	輸出用医薬品等の製造届出手続き及び輸入届出手続き(1.5万件/年)

(2)想定されるシステム化のメリット

<全体的なメリット>

- ①届出書の提出・返却、および輸入通関手続きにかかる時間が短縮
- ②紙の取扱量が減ることにより、保管にかかるスペースや手間が削減されるとともに、環境負荷の低減にも貢献

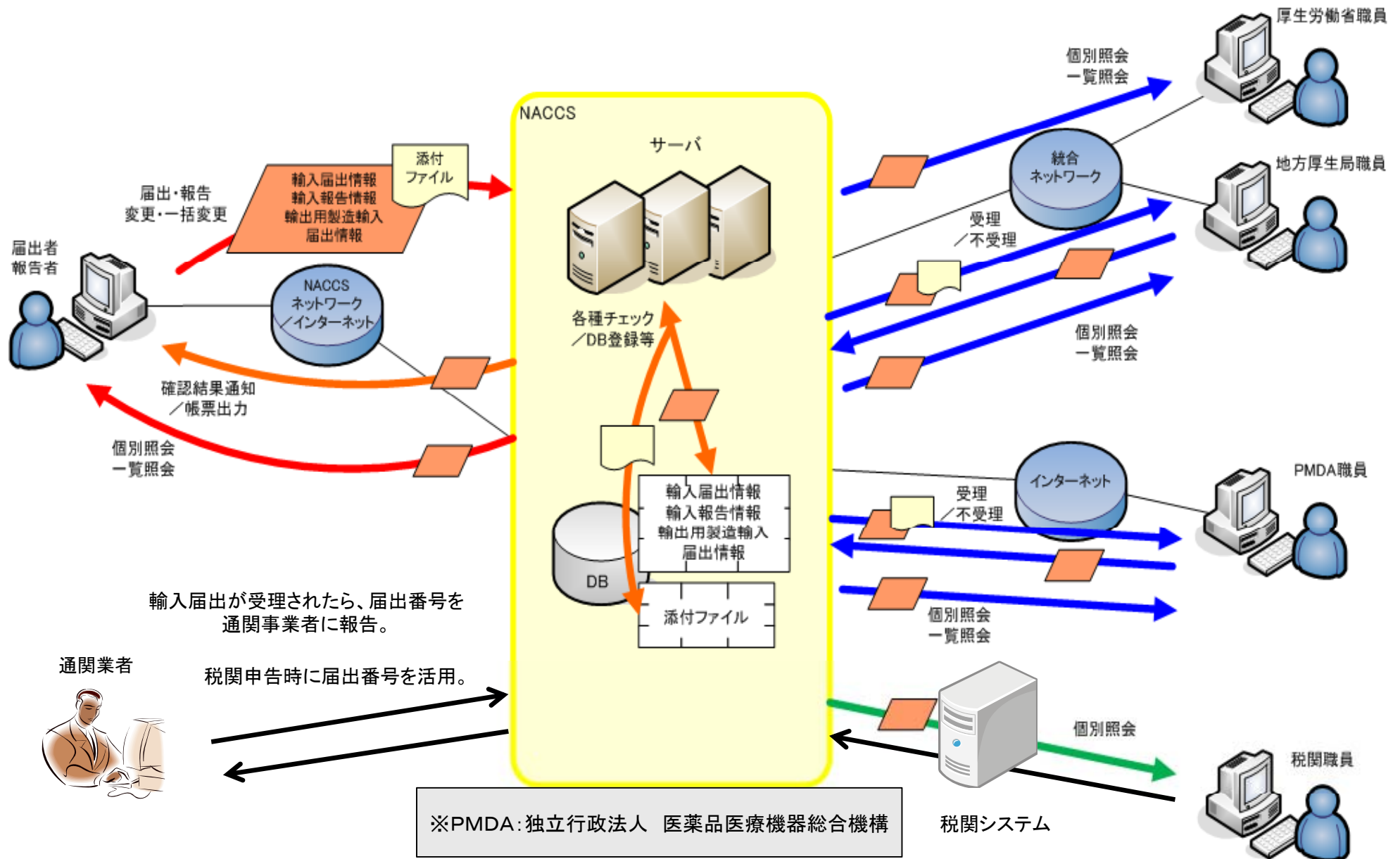
<民間のお客様のメリット>

- ①届出書の提出・返却にかかる費用(郵送費、交通費等)が削減
- ②過去情報再利用やコード化等により、入力にかかる手間やミスが削減
- ③将来的に関連業務やNACCSで保持している関連情報との連携を進めることで、さらなる利便性向上が図れると想定
- ④一括変更届出業務により、有効期間更新に伴う大量の変更届出手続きが簡素化
- ⑤システムの的に利用者の認証が可能になるため、様式ごとの押印不要

<官のお客様のメリット>

- ①システムの的なチェックを行うことで、確認処理時の手間やミスが削減
- ②コード化等により入力内容が統一されるため、確認処理にかかる手間が削減
- ③統計出力機能により、統計作業にかかる手間が削減

(3) システム化後の業務フロー

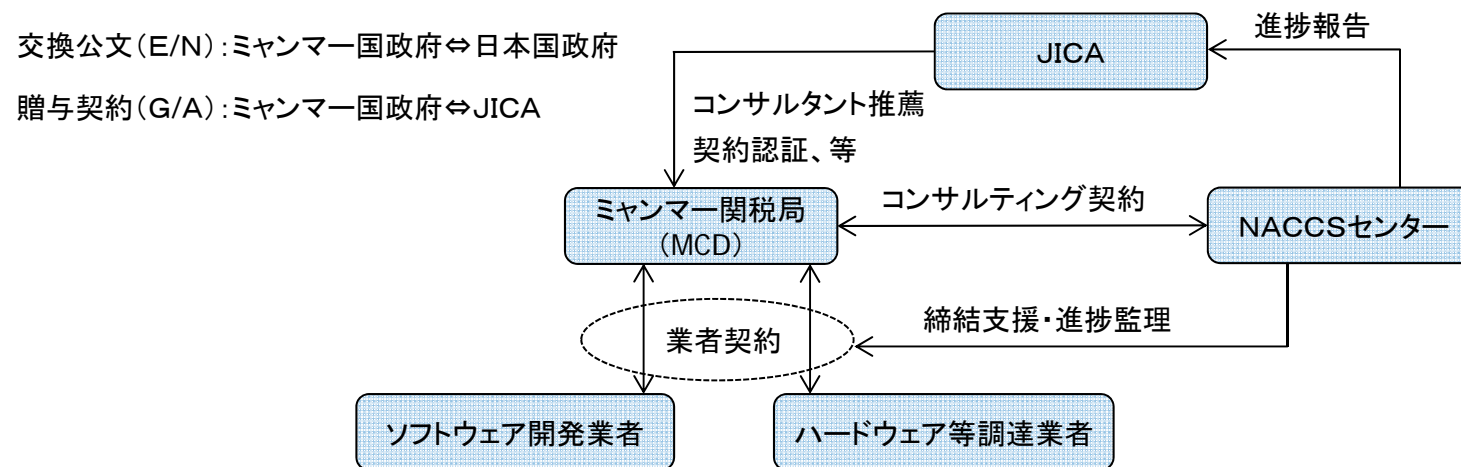


3. NACCSの海外展開

ミャンマーにおけるNACCS型システムの導入に係る支援業務(平成28年中稼働予定)

ミャンマー関税局(MCD)のコンサルタントとしてソフトウェア開発業者及びハードウェア業者との契約締結を支援し、平成28年中の稼働に向け、当該業者の業務実施にかかる進捗監理等を行う。

【ミャンマーにおけるNACCS型システムの導入に係る無償資金協カスキーム】



(参考) ベトナムにおけるNACCS型システムの導入に係る支援業務(平成26年4月稼働)

当社は、ベトナム税関総局(GDVC)のコンサルタントとしてVNACCS構築業者(NTTデータ)の業務の進捗監理等の業務を実施。また、VNACCSの導入・運用に当たりGDVCがシステム利用のお客様の管理を適切に実施できるように、技術支援業務を実施。